

さくら舞う春



芽吹きの季節

KUROHONE

地域おこし協力隊 活動報告

News Letter

Vol.40 SPRING
2023.4月

小島隊員 活動報告

2020年の4月、私はUターンという形で黒保根町の地域おこし協力隊としての活動を始めました。着任と同時期の新型コロナウイルス感染拡大により、行動が制限され、思うような活動ができず悩ましい思いをしました。

しかし、その中でもできることを見つけて少しずつ進めていくうちに、いろいろな人との交流が生まれ、多くの方と親しくなることが出来ました。たくさんご迷惑もおかけしたこともあったと思いますが、皆様が温かく見守ってくださったおかげでここまで充実した日々を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

3年間もあっという間で、私もついに先月末に協力隊を卒業いたしました。少し寂しさもありますが、これで終わりではなく、またここから気持ちを新たに、3年間でできなかったことや、返しきれなかった恩を少しずつでも返していけたらと思っています。

これからもお世話になるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします！



地域おこし協力隊とは：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、地域協力活動や起業・定住に向けた活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。（総務省HPより）

発行/桐生市地域おこし協力隊
担当 小島・河野

河野隊員 活動報告

暖かく春らしくなってきました！

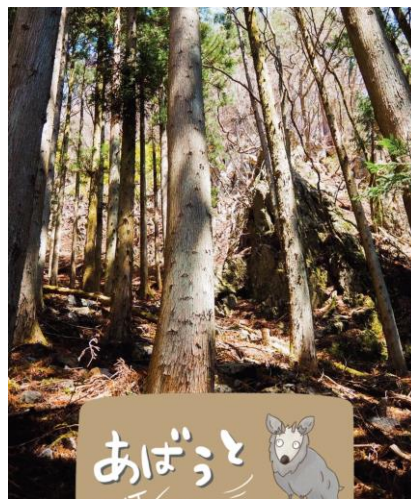
さて、去年のクリスマス以来ですが、3月末から久しぶりに木の実の販売会をしてきます。クリスマスが過ぎてから世間の木の实への関心が一気に薄れる時期に突入しています。ですが！引き続き木の实の販売に繋げるべく、今年はイベント出店を頑張っていきたいと思っております！

今回はくろほの実を使用した木の实アクセサリーの委託販売・黒保根産木の实素材販売・その他黒保根産素材(エンジュのミニウッドプレート)の販売をします。

引き続き、木の实を含めた黒保根産の素材や、その素材を使ったハンドメイド品など、何か情報やイベント販売での興味がある方、お声がけお待ちしております！



鳴らそう
くろほね
くろほね
くろほね
くろほね



2021年4月に着任した地域おこし協力隊が挑む黒保根の木の实を活用した新事業プロジェクト。主に木の实の素材販売と木の实の加工品販売を目指す。



桐生市郊外の山の中にある、人口約1700人の多様な自然・野生動物と共存している小さな村。野菜に特化した豊富な食物の産地。懐かしさのある日本の里山風景が残る。

くろほの実・専用ホームページは、こちらのQRコードまたはURLよりご覧になれます。

URL :

<http://kurohonomi.html.xdomain.jp/index.html>

